

平成26年10月
乳用牛ベストパフォーマンス実現会議

乳用牛ベストパフォーマンス実現会議の開催について

1 趣旨

最近の酪農をめぐる情勢をみると、飼養戸数の減少に伴う乳用牛の飼養頭数の減少や繁殖成績の低下等により、生乳生産量の減少が続いていることから、生乳生産基盤の確保が急務となっている。

特に、生乳供給力の確保のためには、乳用牛の増頭に向けた取組と併せて、コスト低減を図りながら、現在飼養されている乳用牛の泌乳能力と繁殖能力を、牛への負担を増やさずに最大限発揮(ベスト・パフォーマンス)させていくことが必要である。

このため、乳用牛の繁殖・飼養・衛生管理における最新の知見を集約した上で、酪農家における点検改善ポイントを情報発信し、乳用牛の更なる生産性向上を図ることを目的として、有識者からなる「乳用牛ベストパフォーマンス実現会議」を設置する。

2 スケジュール(案)

- 第1回会議の開催(10月31日)
:最近の乳用牛の生産性に関する現状と繁殖・飼養・衛生管理面において解決すべき課題の整理
- 第2回会議の開催(12月～1月)
:第1回会議における検討を踏まえた、具体的な解決方法についての議論及びセミナーやパンフレットを通じた情報発信すべきテーマ等の整理
- 乳用牛ベストパフォーマンス実現セミナーの開催(2月～3月)
:酪農家の飼養衛生管理等における改善ポイントに関する最新の知見についてのプレゼンテーションとパネルディスカッション
- 乳用牛ベストパフォーマンス実現のためのパンフレットの公表(4月)

3 事務局

農林水産省生産局畜産部畜産振興課

注)スケジュールは予定であり、日程変更の可能性あり